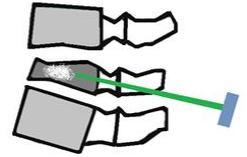


【手技】

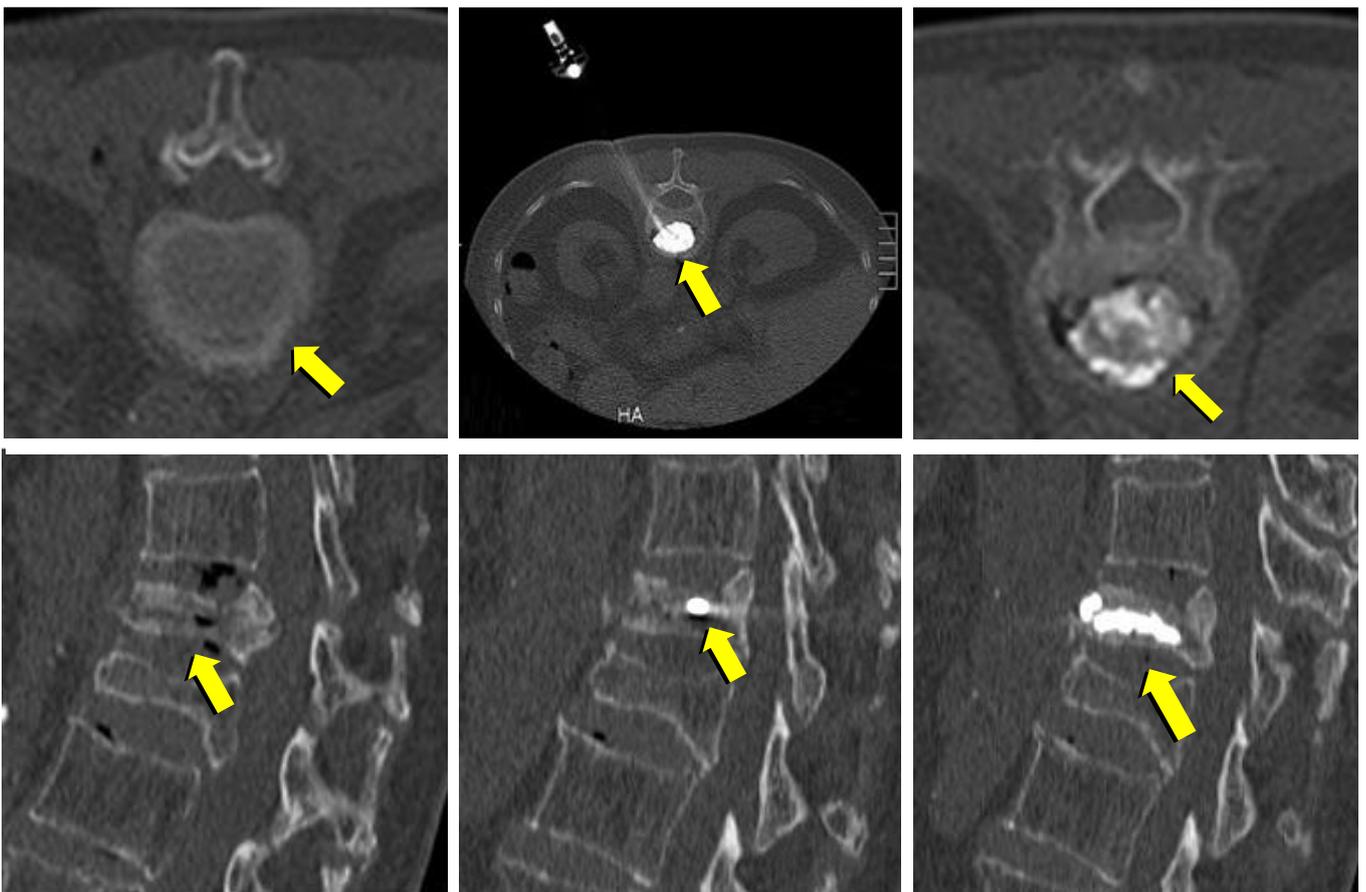
当院では各種の透視画像下に椎体形成術を行っています。患者様は画像装置台に腹臥位になって頂きます。皮膚に局所麻酔をして、透視下に針を骨折している椎体前方に挿入します。骨セメント（時間がたてば硬化する液体）を注射器にて椎体内にゆっくりと透視で観察しながら注入します。手術時間は一つの椎体であれば30～60分程度です。セメントにより背骨が補強され、痛みを緩和することができます。除痛効果は速効性で、注入直後より歩行可能となる場合も少なくなく、大半が24時間以内に痛みが良くなります。通常入院期間は2～3日です。



👉 経皮的椎体形成術の実際

【症 例】 77歳 女性

【現病歴】 自宅で転倒し、歩行困難となり当院受診。CT検査・MRI検査の結果、第12胸椎の圧迫骨折と診断し、同日経皮的椎体形成術（Percutaneous Vertebroplasty: PVP）を施行。翌日退院。



治療前

セメント注入中

治療後

当院ではできるだけ患者さんの負担を軽くするような手術を心がけています。

この術式に関してご質問などありましたら、外来でご相談ください。

当院は救急告示病院、二次救急病院（入院治療や手術を必要とする重症患者に対する医療機関）としてがん救急、腹部外科救急を中心に内科系・外科系疾患を24時間体制で休日、夜間も救急対応しております。急な病気やケガで診療が必要な患者さまは、下記の電話番号までお問い合わせください。

【緊急連絡先】

代表番号 **082-296-0110**

つながらない時は **090-1356-9919**

までお願いします。



<http://www.makidono-ism.or.jp/>

榎殿順記念病院

検索